

# 県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 平成28年11月1日発行（第7号）

## 教員の授業力向上を目指して

平成28年度学力向上推進プロジェクト事業に係る授業力ブラッシュアップ研修国語科協力校、算数・数学科重点校第2回授業発表会が開催されました。

### 《重点校》八千代町立安静小学校（算数・数学科）10月26日（水）

1年生「たしざん」の単元で、本時の目標を「10のまとまりをつくりやすい方法を考え、その理由を説明することができる」、4年生「式と計算」の単元で、本時の目標を「( )を用いて、2段階の構造（加法、乗法）の問題を1つの式に簡潔に表す方法や式の意味から( )の中を先に計算するきまりがあることを考えることができる」と設定し、授業を行いました。協議では、「今日の授業をふまえて改善するとしたら、どこをどのように工夫するか」を柱に話し合いが行われました。

研究協議を通して、「式の意味を考えると、日常生活と結び付けて説明すること」、「活動を常に評価し、それぞれの児童の状況に応じて、適切な指導をすること」の2つのことについて、日々の授業の改善に向けて共通理解を図りました。



### 《協力校》坂東市立長須小学校（国語科）10月25日（火）

1年生「サラダでげんき」の単元で、本時の目標を「物語を読んだことをもとに、サラダを食べたお母さんとりっちゃんの会話を考えることを通して、気持ちや様子を想像しながら読むことができる」、6年生「海のいのち」の単元で、本時の目標を『「命」についての考えを交流することで、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。』と設定し、授業を行いました。協議では、「叙述をもとに、自分の考えをまとめ、表現するためにどのように工夫するか」を柱に話し合いが行われました。

研究協議を通して、「叙述から伝わってくる作者の思いを踏まえ、自分の考えを書くこと」、「複数の叙述を関連付けながら、目的に合わせて自分の考えを書くこと」の2つのことについて、日々の授業の改善に向けて共通理解を図りました。



【長須小の授業の様子】

## 平成28年度第2回臨時的任用職員研修会、若手教員（初任者）研修及び少人数教育充実プラン推進事業に係る第3回非常勤講師研修会

10月4日（火）、県西生涯学習センターにおいて、臨時的任用職員、非常勤講師を対象に実施しました。「特別な教育的支援を必要とする子供への対応」「人権教育」についての講義、「服務規律の確保」について演習を行いました。「自分自身を見つめ直すことができた。」「講義で学んだことを、明日からの教育活動に生かしていきたい。」などの意見が聞かれました。参加者同士で活発な意見が交わされた研修会となりました。



【体罰などの未然防止についての協議】

### 【11月の予定】

#### 【研究協議会等】

10日（木）教育課題に対応するためのリーダー養成研修講座 筑西合同庁舎分庁舎  
15日（火）平成28年度県西地区教務主任研究協議会 県西生涯学習センター

#### 【国語、算数・数学】 学力向上推進プロジェクト事業に係る授業力ブラッシュアップ研修

1日（火）算数・数学科協力校授業発表会 筑西市立下館西中学校  
2日（水）国語科重点校授業発表会 古河市立三和中学校  
9日（水）国語科協力校授業発表会 筑西市立古里小学校  
17日（木）算数・数学科協力校授業発表会 古河市立駒羽根小学校  
30日（水）国語科重点校授業発表会 下妻市立高道祖小学校

#### 【理科】 教科担任制モデル校授業研究会

1日（火）古河市立下大野小学校  
16日（水）筑西市立上野小学校  
18日（金）五霞町立五霞西小学校  
21日（月）常総市立首生小学校  
25日（金）八千代町立中結城小学校  
理科教育の中核となる教員研修授業研究会  
7日（月）下妻市立鷹波ノ江小学校  
中学校新教材モデル校授業研究会  
11日（金）桜川市立桃山中学校  
教科担任制地域推進モデル校授業研究会  
30日（水）境町立長田小学校  
ミュージアムパーク茨城県自然博物館

#### 【外国語活動、英語】 英語教員リーダー育成事業に係る専門指導員の公開授業

18日（金）常総市立石下西中学校  
28日（月）結城市立城南小学校（外国語活動指導法研究推進校）  
30日（水）古河市立古河第二中学校

### 平成28年度県西地区学力向上研修会

10月5日（水）午

後、県西生涯学習センターにおいて、教頭を対象に実施しました。「学校組織を生かして学力を高める一組織で動き、子どもを育てる」の演題で桜川市立桃山中学校 枝川健校長先生より御講話をいただきました。

学力向上に係る組織的・継続的なマネジメントサイクルの定着をはじめとし、組織の中で教員を育て、児童生徒の学力を高めるための具体的な施策をたくさん御紹介いただき、参加者全員で共有することができました。グループ協議では、「教頭として学力向上を図るためにどのような働きかけをしていくのか」という協議の柱のもと、各学校の取組の状況について情報を交換しました。

さらに、各学校の取組で自校で取り入れていきたいことについて話し合いを行いました。振り返りには、「全職員が学校の教育目標に向かうベクトルをそろえることを意識したい」という感想が多く書かれていました。とても、有意義な研修会となりました。



## 【シリーズ「授業の中での人づくり」④】

～海老原 淳 教諭(常総市立水海道西中学校)の実践～

常総市立水海道西中学校では、目指す生徒の姿を「ねばり強くやり抜く生徒(強く)自ら工夫して学ぶ生徒(正しく)思いやりのある生徒(美しく)」とし、日々の教育活動に取り組んでいます。海老原 淳 教諭は、美術の授業を中心に、子どもたちが、「なるほど」「わかった」「できた」ということが実感できるように、「課題を設定し、見通しをもって活動できる生徒」の育成を目指し、指導にあたっています。

### 【一時間一工夫のポイント】

～『納得解』を実感できる授業とするためのポイント～

【実践例】 第1学年 美術科 「モダンテクニックで感情を表そう」

目標：モダンテクニックの技法を使い、「感情」を表現することができる。

※モダンテクニック：偶然にできる形や色を利用した効果や表現のこと



グループで鑑賞し、お互いの工夫したところや作品への思いを発表し合う言語活動の機会を設けることで技法の効果や意図を共有化することができた。



作品の発表の場では、実物投影機を使うことで、みんなにわかりやすく自分の思いや考えを説明することができた。

①生徒自ら表現したい『感情』＝主題を決定することで自主的・主体的な創作活動になるように題材を設定する。

②視覚的な資料や見通しをもって活動できるように授業の流れを掲示し、ユニバーサルデザインを意識した板書構成にする。

生徒が見通しをもって取り組み、自ら課題を設定することで【主体的な学び】が実現

③創造活動の中に言語活動を取り入れ、生徒同士の協働によって作品の思いや良さを導き出す鑑賞指導にする。

④ ICT 機器を使って生徒が自分の思いを発表することで共有が図られ、考えを広めることを目指した授業展開にする。

他者との協働を通して、自らの考えを広げ深める【対話的な学び】が実現



『感情』の中から生徒自ら表現したいことを「主題」とし、どの技法を使えば良いか考え、判断し、表現する活動が見られた。



モダンテクニックの技法を協働の中で学び、効果的な方法を自ら探る場面を設定することで、生徒同士で解決する姿が見られた。

### 【海老原教諭から】

「主体的・協働的な学習」を可能にするために、表現したいことを『主題』として生徒が自ら設定しました。また、主題に迫るために必要な技法を教え合いながらグループで習得させ、共有できるようにしています。

美術科の授業では、生徒が主体的に創作活動できるように心がけています。常に「なるほど」「そうすればいいの？」などの実感が伴う場面を意図的に設定しています。今後も、それぞれの学年の実態にあった授業づくりに取り組んでいきたいと考えています。

### 【総務課からのお知らせ】

#### 年末調整について

「年末調整」は、給与の支払いを受ける人の一人一人について、毎月の給料や賞与などの支払いの際に源泉徴収した税額と、その年の給与の総額に対して納めなければならない税額(年税額)とを比べて、その過不足額を精算する手続きです。

勤務校において、年末調整事務処理を行ううえで「給与所得者の扶養控除等(異動)申告書」や「給与所得者の保険料控除申告書兼給与所得者の配偶者特別控除申告書」等の提出が必要となります。申告には証明書類の貼付が必要となります。申告漏れがないよう願います。

### 【交通事故の防止】

- 例年、日没が早まる10月以降、16～18時の「人対車両交通事故」が急増の傾向にあります。

薄暮時に車を運転する際は、ライトの早め点灯、ハイビームの積極的活用で、交通事故の未然防止に努めましょう。

### 【風通しのよい職場づくりのために】

- 教職員相互のコミュニケーションがしっかりとれ、学年や教科、職場全体の仲間と強い「絆」で結ばれている。「風通しのよい職場づくり」を進めることで、教職員のメンタルヘルスを保持し、教職員にとってよりよい職場を築いていきましょう。

### 風通しのよい職場づくりのためのチェックリスト

- 課題に応じて、関係ある教職員の間で情報交換をし、共有化を図っている。
- 効率的、機能的に業務を進められるよう、各教職員の役割分担がはっきりしている。
- 業務の繁忙に応じ、相互に支援し合っている。
- 教職員同士が互いに何でも話せる雰囲気がある。
- 教職員間の親睦を深める行事を行う等、工夫している。
- 児童・生徒の指導は複数の教職員で行うなど、日常業務を組織的に対応している。